

③ 昭和41年度産業界等研修生派遣（県単事業）

研修生氏名	研修生在職校	依所 託在 先地	研 修 期 間	テ ー マ
唐 川 勇	川俣高等学校	東京都中央区銀座東5丁目4番地ニュー東京ビル内 内外国鈴江特許法律事務所長 鈴江武彦	8月1日～8月20日 (20日間)	特許の申請について
前 川 善 明	郡山工業 "	東京都三鷹市下連雀 337 (株)東京精密 経理部 高木寿	8月6日～8月25日 (20日間)	空気・電気マイクロメータによる測定法
成 田 実	二本松工業 "	東北大学工業教員養成所 今野彦貞 仙台市南六軒丁	8月1日～8月18日 (18日間)	人工軽量骨材使用による コンクリートの配合設計
金 子 健 一	喜多方工業 "	東北大学工業教員養成所 今野彦貞 仙台市南六軒丁	7月25日～8月13日 (20日間)	コンクリート配合設計
山 田 忠 明	勿来工業 "	仙台市桜小路 東北大学工学部化学工学科	8月16日～9月2日 (18日間)	化学工学プラントについて
永 山 剛	平工業 "	郡山市田村町徳定字中河原1 学部長 横地伊三郎	7月25日～8月13日 (20日間)	磁気増巾器の取扱いと応用
新 沼 邦 良	小高工業 "	東京都港区芝久保桜川町25才5森ビル 日本無線(株)工務部 村元利夫	8月6日～8月25日 (20日間)	弱電機器について
二 瓶 徳 昌	会津工業 "	耶麻郡磐梯町大字磐梯1372 日曹金属(株)会津製錬所長 柏田松三	8月1日～8月15日 (15日間)	亜鉛鉱の分析について
小 林 満 美	" "	名古屋市南区大機通1の5 トキワメリヤス(株) 渡辺恒英	8月1日～8月14日 (14日間)	円形ベラ針編機の取扱いについて
片 山 邦 彦	" "	神奈川県横浜市 松下通信工業(株)	8月20日～9月8日 (19日間)	通信機器について

(2) 県主催の研修講座とその内容

① 昭和41年度福島県産業界教育指導者養成講座

ア. 目 的

中学校の技術、家庭教育および高等学校における産業教育の現状と問題について研究協議し、本県の産業教育の振興と発展を図る。

イ. 期 日

昭和41年10月4日～7日

ウ. 会 場

国立磐梯青年の家

エ. 日程と内容（概要）

10月4日（火）	12.30～13.00	受付
	13.00～14.00	開講式、オリエンテーション
	14.00～16.40	研修（全体会）
	19.00～21.00	研修（全体会）
10月5日（水）	8.30～12.00	研修（分科会）
～6日（木）	13.00～16.30	研修（分科会）
	19.00～21.00	研修（分科会）
10月7日（金）	8.30～10.00	研修（全体会）
	10.00～12.00	閉講式ほか

オ 講 師

中学校技術・家庭部会	県教育庁指導課指導主事	横内 直典
農業部会	県教育庁指導課指導主事	佐竹 俊彦
工業部会	県産業界教育係長	佐久間俊忍
商業部会	福島県立若松商業高等学校長	前田正夫
"	県教育庁指導課指導主事	横山 茂
家庭部会	"	海野 清瀬
進路指導部会	"	斎藤 正夫

カ. 各部会協議内容

A 農業部会

研究協議題

1. 農業に関する学科の改善と充実について
  - (1) 教育課程について

(2) 施設設備について

(3) 農業教員の研修について

2. 農場運営と管理について
3. 自営者養成学科のあり方と関連産業学科のあり方について
4. HR及び農業クラブの専門分会の指導について
5. 生活科のあり方について
6. 15年後の日本の農業について

B 工業部会

研究協議題

- 1 生徒の実態に即した効果的な機械実習の指導はどのようにしたらよいか。（内容、順序、配列、単位数、ローテーション指導法などを中心に研究する。）
- 2 機械科の多様化をどのように図ったらよいか。（中教審の中間報告県振興計画を参考にしながら研究する。）
- 3 自校の機械科を特色づけるための、実習施設、設備はいかにあるべきか。
4. 本県における工業科教員の現職教育のための研修施設（例・東京都立工業共同実習所）の規模、内容等はいかにあるべきか。

C 商業部会

研究協議題

1. 商業教育の基本的な概念をどう考えるか。
- 2 商業教育を達成するには、どのような指導事項をとりあげ、どのように系統づけて商業科全体を構成するか。
3. 商業教育の現代化の立場から、特に重視すべきことからは何か。
- 4 指導内容の精選をどのような方針で行なうか。
5. 現行学習指導要領の内容のうち軽減してよい事項はないだろうか。
6. 現行学習指導要領の内容のうち、もっと強調すべき事項、または加えるべき事項は何か。